

レイアタツツカプセル 150mg

レイアタツツカプセル 200mg

【この薬は？】

販売名	レイアタツツカプセル 150mg REYATAZ CAPSULES	レイアタツツカプセル 200mg REYATAZ CAPSULES
一般名	アタザナビル硫酸塩 Atazanavir Sulfate	
含有量 (1カプセル中)	170.84mg (アタザナビルとして 150mg)	227.79mg (アタザナビルとして 200mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗ウイルス剤（HIVプロテアーゼ阻害剤）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）のプロテアーゼを阻害してウイルスの増殖をおさえます。
- ・次の病気の人に処方されます。

HIV-1 感染症

- ・この薬は、他の抗HIV剤と併用されます。
- ・この薬を、自己判断で使用を中止したり、量を加減したりすると、病気が悪化したり効きにくくなるおそれがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にレイアタツカプセルに含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- ・肝臓に重度の障害がある人
- ・次の薬を使用中の人

リファンピシン、イリノテカン塩酸塩水和物、ミダゾラム、トリアゾラム、ベプリジル塩酸塩水和物、エルゴタミン酒石酸塩、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、エルゴメトリンマレイン酸塩、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩、シサプリド、ピモジド、シンバスタチン、インジナビル硫酸塩エタノール付加物、バルデナフィル塩酸塩水和物、プロナンセリン、プロトンポンプ阻害剤

次の人は、原則として、この薬を使用することはできません。

- ・妊娠または妊娠している可能性がある人

次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・心臓に伝導障害のある人
- ・肝臓に軽度から中等度の障害がある人
- ・血友病の人、および著しく出血しやすい人
- ・高齢の人

この薬には併用してはいけない薬 [リファンピシン (アプテシン、リファジン、リマクタン等)、イリノテカン塩酸塩水和物、ミダゾラム (ドルミカム)、トリアゾラム (ハルシオン等)、ベプリジル塩酸塩水和物 (ベプリコール)、エルゴタミン酒石酸塩 (カフェルゴット等)、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩 (ジヒデルゴット等)、エルゴメトリンマレイン酸塩 (エルゴメトリン F)、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩 (メテルギン等)、シサプリド (アセナリン等)、ピモジド (オーラップ)、シンバスタチン (リポバス等)、ロバスタチン (国内未発売)、インジナビル硫酸塩エタノール付加物、バルデナフィル塩酸塩水和物 (レビトラ)、プロナンセリン (ロナセン)、プロトンポンプ阻害剤 (オメプラゾール等)、セイヨウオトギリソウ (St. John's Wort, セント・ジョーンズ・ワート) 含有食品] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

[抗 HIV 薬による治療経験のない人の場合]

一回量	・レイアタツツ 300mg とノービア* 100mg または ・レイアタツツ 400mg
飲む回数	1 日 1 回食事中または食事のすぐ後

* : ノービア(成分名 : リトナビル)

[抗 HIV 薬による治療経験のある人の場合]

一回量	・レイアタツツ 300mg とノービア* 100mg
飲む回数	1 日 1 回食事中または食事のすぐ後

* : ノービア(成分名 : リトナビル)

どのように飲むか？

かまずにコップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

ジダノシンと併用するときには、本剤使用後、2 時間以上の間隔をあけてジダノシンを空腹時に飲んでください。

飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に食事とともに 1 回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合には一回とばして、次の時間に 1 回分を飲んでください。

多く使用した時(過量使用時)の対応

異常を感じたら、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬は、患者さんやそれに代わる適切な人が次の点について十分に理解できるまで説明を受け、同意してから使用が開始されます。
 - ・この薬は HIV 感染症を根本的に治すものではありません。この薬を飲んでいても、病気が進行する可能性がありますので、身体状況の変化は全て医師に報告してください。
 - ・この薬を空腹時に使用すると抗ウイルス作用を発揮できないことがありますので、この薬を食事中または食事の後に飲んでください。
 - ・この薬の使用中は、医師の指示なしに飲む量を変えたり、使用を中止したりしないで、処方された用量を守ってください。
 - ・この薬は一部の薬と相互作用を起こすことがあるため、使用している薬をすべて医師および薬剤師に報告してください。
 - ・この薬が、性的接触や血液を通した他者への HIV 感染の危険性を低下させるかどうかについては証明されていません。
 - ・この薬の使用中に眼球・皮膚の黄染がみられた場合には医師に報告してください。

- ・この薬を長く飲んだ場合の影響についてはわかっていません。
- ・無酸症などの著しく胃酸が少ない状態が持続する状態では、この薬の作用が減弱するおそれがあります。
- ・この薬の使用後、発疹があらわれたとの報告があります。一般に使用し始めてから3週間以内に発疹があらわれ、通常は使用継続中に2週間以内で消失します。重い発疹があらわれたり、持続する場合には、医師に連絡してください。
- ・この薬と乳酸アシドーシス（深く大きい呼吸）の危険性を増大させるH I V感染症の薬と一緒に使用した人において、重篤な乳酸アシドーシスや高乳酸血症により死亡した例が海外で報告されています。
- ・この薬を含めて、H I V感染症の薬によって体の脂肪の分布が変化し、顔や手足がやせたり、おなかのまわりが大きくなったりすることがあります。
- ・この薬を含めて、H I V感染症の薬を飲み始めた後、免疫力が回復し、日和見感染などに対する炎症反応（発熱、下痢など）があらわれたり悪化したりすることがあります。
- ・ノービア(リトナビル)と併用する場合は、よく説明を受けてください。なお、ノービアの患者向医薬品ガイドもあります。
- ・妊娠または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を中止してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
重度の肝機能障害、肝炎 じゅうどのかんきのうしょうがい・かんえん	皮膚が黄色くなる、嘔吐（おうと）、白目が黄色くなる、尿の色が濃くなる、吐き気、食欲不振、かゆみ、全身のたるさ
糖尿病 糖尿病の悪化及び高血糖 とうようびょう、とうようびょうのあつかおびこうけつとう	のどが渇く、疲れやすい、尿量が多い、体重減少
出血傾向 しゅっけつけいこう	血友病の人で突発性の出血性関節症など
QT 延長 キューティーえんちょう	動悸、気を失う

重大な副作用	主な自覚症状
心室頻拍 しんしつひんぱく (torsades de pointes を含む) トルサード ド ポアン	息切れ、動悸、脈が速くなる、意識がなくなる、 胸の痛み、胸部異和感、動悸、脈が速くなる、気 を失う
房室ブロック ぼうしつブロック	めまい、胸の痛み、胸の不快感、動悸、気を失う
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん(ス ティーブンス - ジョンソンしょうこうぐ ん)	からだがだるい、高熱、発熱、まぶたや眼の充血、 結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、 食欲不振、赤い発疹、中央にむくみをともなった 赤い斑点、陰部の痛み
多形紅斑 たけいこうはん	関節の痛み、発熱、発疹やみずぶくれができる、
中毒性皮疹 ちゅうどくせいひしん	大小の赤い斑

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	全身のだるさ、出血傾向、疲れやすい、からだがだるい、高熱、 発熱、関節の痛み
頭部	意識がなくなる、めまい
眼	白目が黄色くなる、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、
口や喉	吐き気、嘔吐、のどが渇く、ひどい口内炎、唇や口内のただれ
胸部	吐き気、動悸、息切れ、胸の痛み、胸部違和感、胸の不快感
腹部	食欲不振、吐き気
手・足	脈が速くなる、関節の痛み
皮膚	皮膚が黄色くなる、かゆみ、赤い発疹、中央にむくみをともなっ た赤い斑点、発疹やみずぶくれができる、大小の赤い斑
尿	尿の色が濃くなる、尿量が多い
その他	体重減少、血友病の人で突発性の出血性関節症など、気を失う、 陰部の痛み

【この薬の形は？】

販売名	レイアタツカプセル 150mg	レイアタツカプセル 200mg
形状	 硬カプセル	 硬カプセル
長径	19.0mm	21.2mm
短径	6.9mm	7.6mm
重さ	0.35g	0.47g
色	キツァブ：青、ボディ：淡青色	青色
識別コード	3624	3631

【この薬に含まれているのは？】

販売名	レイアタツカプセル 150mg	レイアタツカプセル 200mg
有効成分	アタザナビル硫酸塩	
添加物	クロスポビドン、乳糖水和物およびステアリン酸マグネシウム	

【その他】

この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

販売会社： Bristol・マイヤーズ株式会社

(<http://www.bms.co.jp>)

メディカル情報部

電話：0120-093-507

受付時間：9：00～17：30

（土、日、祝日並びに当社休日を除く）